

令和6年度 事業所における自己評価結果（集計）

公表：令和7年2月

事業所名：放課後等デイサービス ていーだ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室などのスペースとの関係で適切であるか。	4	0	・パーティションを使う等して使用している。	・今後、受け入れ人数の増加が見込まれるため、クラス分け等を行いながら対応していく。
	2	職員の配置数は適切であるか。	4	0	・配置基準に合わせて配置。	・今後、受け入れ人数の増加が見込まれるため、必要に応じて増員の検討を行っていく。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また障害の特性に応じ、事業所の設備などは、バリアフリー化や情報伝達などへの配慮が適切になされているか。	4	0	・棚に籠を用意したり、靴下入れを設置しているが、改善できそう。 ・目印等つけているが、改善点はある。	・打ち合わせや職員会議で上がったことを適宜対処しながら、可能な限りのバリアフリー化に努める。 ・子どもたちの実態に合わせた工夫を引き続き検討していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0		・継続して、清掃・消毒・換気などの環境調整を行っていく。
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0		・パーティションを使ったり、遊びに応じて部屋を分けたりして対応している。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	1	・職員会議等の中で、挙げた議題について、職員それぞれの意見交換をしながら検討を行っている。	・年に3回程、職員面談を実施している。その中で、年度目標等を職員とも確認していけるようにしたい。
	7	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	2	2	・今年度アンケート実施。 ・面談等で適宜確認をしている。	・今年度事業所スタートにより、アンケートを初実施。保護者意向を面談等でも確認しているため、それらと合わせて今後の改善につなげたい。 ・保護者アンケートはHP掲載。
	8	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	2	2	・今年度実施。	・今年度事業所スタートにより、アンケートを初実施。職員面談と合わせて今後の事業所改善につなげたい。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	4		・今後必要に応じて検討。
	10	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	4	0	・月1回の実施をしている。	・当日の研修参加が出来なかった職員へは、伝達研修を行っている。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3	1	・活動（支援）内容、支援プログラムをHPにて公表。	・必要に応じて内容の見直しを行っていく。
	12	アセスメントを適切に行い、子どもや保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	0	・独自のアセスメントツールや、外部講師による助言や発達検査を踏まえながら支援計画の作成を行っている。	
	13	放課後等デイサービスを作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解のもとで、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	・各職員と相互にやりとりしたり、子どもの様子を意見交換したりしながら支援の検討を行っている。 ・職員会議等で、気になる様子を共有してチームで共通理解をするようにしている。	・地域の社会資源や、その他子どもの取り巻く環境を視野いれて、意見交換を行っている。職員研修の機会も活かしながら、子どもたちの最善の利益について考える機会を増やしていきたい。
	14	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているか。	4	0	・支援計画に基づいて支援を実施。	・適宜、気になる事は記録に残し、次回以降の計画につなげていく。

適切な支援の提供	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察も含むインフォーマルなアセスメント等を使用する等により確認しているか。	4	0	・独自のアセスメントツールや外部講師による発達検査等を使用している。	・年齢や発達段階に応じたツールを適宜検討していく。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0	・ご家族との面談で確認したニーズ、事業所でのアセスメントをもとに、ガイドラインや子どもの実態を考慮して計画作成と、支援内容を設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	1	・担当を決めて、各職員相談しながら決定している。	・作成の段階で、職員同士の意見交換や、会議の場を活用して共通理解を図っていききたい。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	・季節行事を取り入れたり、他の事業所も参考にしながら立案している。	
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	0	・計画に沿って、活動の立案を行っている。	
	20	支援開始前には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	4	0	・日によってできないときもある。その際は、書面に残して共有している。 ・書面にて、個別に役割等確認することがある。	・支援前の打ち合わせが難しい際は、前日に行ったり、書面に残したりして個別に情報共有と確認が出来る体制にする。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	2	2	・翌日になってしまうこともある。 ・書面に残している。 ・活動リーダーが書面に記入し共有。	・職員体制上難しい場合は、引き続き支援終了後の反省や気づきを書面に残して引き継げる状態にする。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0	・個別のケース記録とファイルを作成。適宜、振りかえりと確認が出来るようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス支援計画の見直しの必要性を判断しているか。	4	0	・定期的に面談を行い、モニタリングを行っている。また、ご家族の要望やその他必要に応じて面談や会議を実施。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	4	0	・ガイドラインについて、職員研修を実施。確認を行っている。 ・活動立案の中で、適宜検討している。	・今年度実施した活動の振り返り検証し、来年度につなげていきたい。
関係機関や	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか	4	0	・セレクト遊びを取り入れ、活動の中で意図的に子どもだちが自分で選んで決める機会を作っている。 ・月に1度、児童会を取り入れて、活動等への子どもたちの意見を出す機会を作っている。	・来年度以降、社会体験の中で、子どもだち主体の探求活動の導入も検討していきたい。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	4	0	・児童発達支援管理責任者を中心に、必要に応じて職員も参加している。	
	27	地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか。	3	1	・自立支援協議会への参加や、情報共有など、連携を行っている。 ・関係機関の要請に応じた会議やケース検討会議に適宜参加している。	・現在、児童発達支援管理責任者中心に参加を行っているが、今後状況に応じて参加する職員を検討。 ・学校との連携の強化を目的とした情報共有も図っていききたい。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	0	・学校側と確認しきれていない部分もある。 ・月の利用日程等を保護者の同意を得て配布。	・学校との連携の機会を、増やしていく。必要に応じて関係機関も交えて協議していく。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で、情報共有と相互理解を図っているか。	4	0	・事業所とは行うことが出来ている。	・つなぎシートを活用して情報共有を行っている。必要に応じて、移行支援会議を実施。

保護者との連携	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	4	・対象児なし。 ・今後、引継ぎシート等作成予定。	・今後、必要に応じて、引継ぎシートを作成し、関係者を交えた移行支援会議を実施。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	1	・自立支援協議会等の中で、必要な情報交換を行っている。	・今後、児童発達支援センターと連携を深めていきながら、研修や交流の機会につなげていきたい。
	32	放課後児童クラブや、児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	1	3	・今年度、大学生との交流会を実施。	・来年度以降、社会体験の中で、地域の同年代の子どもたちとの交流を図っていく。
	33	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て支援会議等へ積極的に参加しているか。	4	0	・定期的な部会に参加している。	・今後も継続して参加していく。
	34	日頃から子どもの状況を保護者に伝え合い、子どもの発達の状況や課題について、共通理解を持っているか。	4	0	・連絡帳やSNSを通して、その日の様子を伝えつつ、必要に応じて、電話連絡や面談を実施した。	・引き続き、取り組みながら柔軟な対応を行っている。
	35	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング)の支援を行っているか。	4	0	・なーちゃと合同で2ヶ月に1回程度行った。	・今後ていーだでも企画検討。就学後の困り感や保護者の情報共有の場を設けていきたい。
保護者への説明責任等	36	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	・契約時や、4月に行う事業所説明会の際に説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	・6ヶ月ごとに支援計画見直しのモニタリングを実施。ご家族との面談で確認したニーズ、事業所でのアセスメントをもとに、ガイドラインや子どもの実態を考慮して計画作成と、支援内容を設定している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	0	・計画更新時に説明を行い、同意を得るようにしている。	
	39	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	4	0	・連絡帳やSNSを通して、直近の様子を伝えつつ、必要に応じて、電話連絡や面談を実施した。	
	40	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	1	・年度初めに事業所説明会を実施。 ・来年度企画予定。	・きょうだい同士の交流会等、ご家族参加型の交流会を来年度企画していきたい。
保護者	41	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	・連絡帳やSNSを通して、情報共有を図り、必要に応じて、電話連絡や面談を実施した。	
	42	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4	0	・月に1回、お便りを配布し、活動の様子も掲載している。 ・行事の内容等をプリント配布やSNS発信を行い、説明・参加の有無を聞き取っている。	

への説明責任等	43	個人情報の取扱いに十分注意しているか。	4	0	・同意書により、承諾を得るとともに、随時、ご家族への連絡を行うようにしている。	
	44	通所児や保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	・要望に応じて、書面等ひらがな打ちを行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	1	・社会体験体験を通じて、身近な地域環境や、地域資源に触れる機会にしている。	・事業所の交流活動や、社会体験活動で、地域の方が参加できるような活動を検討していく。
非常時等の対応	46	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	1	・各種マニュアルを作成し、いつでも回覧できるようにしている。	・年度ごとに内容の見直しを検討していきたい。
	47	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0	・月に1回の避難訓練を実施している。地域の消防訓練への参加を行った。	・非常災害についての避難方法など、今後も消防や行政をはじめとする関係機関と連携を図り、対応できるようにしていく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4	0	・薬の服薬がある際は、処方箋をコピーしている。 ・契約時や、モニタリングの際に確認を行っている。また、変更時は連絡帳等を通じて報告するようお願いしている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0	・対象児の名札の用意。 ・おやつの振り分けを行っている。 ・医師の診断書を受けて、指示に従って対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分にされた中で支援が行われているか。	3	1	・月に一度の避難訓練と、職員会議内で、危険個所の確認、対応の検討を行っている。 ・緊急時の応急処置等を研修で実施。	・避難訓練等の中で、緊急時対応を含めた訓練を取り入れていきたい。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0		
	52	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	4	0	・ファイルを作成して共有している。	・ヒヤリハット事例が繰り返されないよう、会議等で周知と、対策の検討を重ねていく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	・事業所内で職員研修を実施。必要に応じて外部研修への参加も検討する。	
54	どのような場合に、やむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画書に記載しているか。	4	0	・対象児なし	・現在、対象の子どもさんがいないため、計画書に記載することはない。今後の事案や状況に応じて、適切な対応を行っていく。	

<その他：気になること、改善すべき点など>

- ・マニュアル等を再度、職員会議や、研修または日々の打ち合わせの中で取り上げ、周知を行っていく。
- ・保護者支援プログラムや、きょうだい児との交流、地域との交流について、検討を重ねていく。
- ・学校や、行政機関、その他関係機関との情報共有の機会について、職員参加が出来る体制を検討していきたい。
- ・業務の中で感じられた課題等、適宜職員同士で意見交換や改善の提案を図っていけるような環境を整えていきたい。
- ・事業所の環境として、ハード面の課題もある。可能な限りの対策を行いながら、職員、利用者が安心して過ごせる事業所にしていく。